

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		上水道配水管等整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名 久留 伸二
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	上下水道課	担当者名 松永 博貴
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	管理工務班	(内線) 1198
					法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
	90	21	1	1				コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S37 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
上水道(飲料水等)の新設配水管等整備(布設替等工事)事業。事業費を使っておこなう。

【業務の流れ】
上水道の配水管等整備のための①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水管工事⑥竣工検査⑦支払い事務

【主な予算費目】建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	上水道の配水管工事32件施工した。	・すずかけ台配水管布設替工事 ・御代志野々島線配水管布設替工事
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	上水道配水管。 上水道使用者。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 上水道の普及率 % イ 上水道の配水管布設工事延長 m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	上水道配水管を計画的に布設出来る。 安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 上水道使用者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	快適な生活環境で暮らすことが出来る。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 上水道の配水管延長 m イ 水質、水圧に関する苦情件数及びその比率 件
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 水道普及率 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 数 計 画 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	183,265	154,081	197,500	229,719	197,500	197,500	
		繰入金	千円	12,484	2,826	2,500	3,958	2,500	2,500	
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	195,749	156,907	200,000	233,677	200,000	200,000	200,000	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人	5	8	6	4	4	4	4		
延べ業務時間	時間	1,800	2,888	2,800	2,701	2,700	2,700	2,700		
(B)人件費計	千円	7,146	11,494	11,144	10,750	10,746	10,746	10,746		
トータルコスト(A)+(B)	千円	202,895	168,401	211,144	244,427	210,746	210,746	210,746		
活動指標	ア % イ m	99.57 4036	99.6 5258	99.63 5000	99.64 7461	99.66 5000	99.69 5000	99.72 5000	99.69 5000	
対象指標	ア 人 イ	46491	46991	47491	47491	47991	48491	48991	48491	
成果指標	ア m イ 件	239161	244419	249419	251880	254419	259419	264419	259419	
上位成果指標	ア % イ	99.57 99.6	99.6 99.6	99.63 99.63	99.64 99.64	99.66 99.66	99.69 99.69	99.72 99.72	99.69	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和37年度から上水道を計画的に整備し清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
水道使用者数(給水件数)は平成13年3月31日現在(16,687件)から平成18年3月31日現在(18,155件)までの5年間で1,468件増加して年々増加傾向にあり、それに伴い配水管等の整備や、老朽化している配水管等の布設替えも増加してきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特に聞いていない。

事務事業名	上水道配水管等整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「上水道配水管を計画的に布設出来る。安全で良質な水道水を安定的に供給出来る。」ことにより、結果の「水道利用者に安全で良質な水道水を安定的に供給することが出来る。」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市が水道事業を行わなければ安全でおいしい水を安定的に供給することが出来なくなる。また、それに変わる事業者が無い為。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 水圧等の苦情がないように管路の整備を行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止すると、受益者へ安全で良質な水道水を安定的に供給出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 配水管を整備するすべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。適切である。 ②有効性については、…。水圧等の苦情がないように管路の整備を行う。 ③効率性については、…。適切である。 ④公平性については、…。適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・計画的に管網の整備を行い安定した水の供給に努める。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	7	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)